

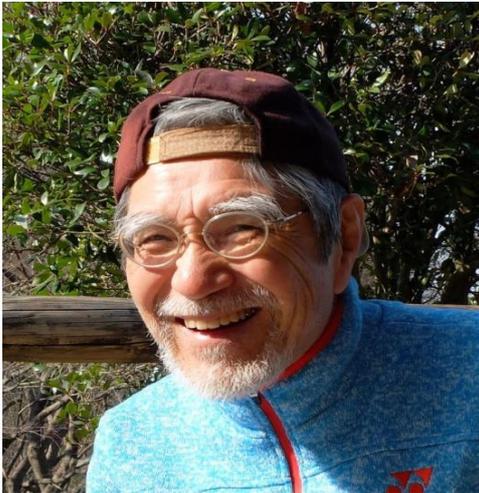
トピックス できごとやニュース

○ワイヤレス拡声器購入しました（14期用）

カレッジのフィールド学習、講師の声が聞こえ難い時があります。  
（今までは講師に拡声器をぶら下げて頂いていました）  
ワイヤレスだと講師の近くは講師肉声で、離れたところでは  
スピーカーで聞けます。→→屋外でも密集を避ける工夫です。  
具合良ければ15期用も購入を検討します。



ひと 今回は15期の講座生の阿倉さん 講座の講師から今春講座生になられた珍しい方



阿倉薫さん（15期生 最寄り駅は三日市町）

河内長野市在住の15期生の阿倉薫です。  
自然が好きで、すぐ近くの「岩湧の森」によく通いました。  
ちょうどデジカメの進歩が著しい時でしたので、家内に相談しながら  
次々に新製品を手に入れ、虫達を接写で大きく撮ることに情熱をそそぎ、  
うまく撮れた時はその美しさに感動し、珍しい光景を撮れた時は  
小躍りして喜んでいました。  
虫ばかり撮ってきて”木を見て森を見ず”になってるなあ・・・と思って  
今回受講させてもらいました。 よろしくお願い致します。

編集部 カレッジの講座「マクロ撮影」を担当いただく講師。 マクロ写真の他に、趣味で作った  
木製の手作り掛け時計を見せてくださる。 ニコニコ楽しいお人柄で大人気の「シロヒゲ先生」。  
講師から講座生になれるのはお二人目です。 カメラ購入費用で奥様は大変？

巣ごもり便利 Stay home! 今回はTMさんからの便利

空想の旅に出かけよう

コロナで巣ごもりしても時刻表があれば空想の旅が楽しめる。今もいいが昔を旅するのもまた面白い。  
新幹線開業直前／直後の時刻表（1964年9月、10月号復刻版）を入手した。  
なんて懐かしいこと！今の時刻表の半分のサイズ（B6）。索引地図には特に北海道や九州は今よりずっと  
沢山の鉄道路線が狭い紙面いっぱい詰まっている。「愛国から幸福行き」の広尾線も走っている。  
前日まで豊肥・日豊本線を走っていたディーゼル急行《ひかり》が一夜明けると新幹線の檜舞台に大出世。  
見ていて興味が尽きない。もちろん泉北高速線はまだない！！

「空想の旅」は尽きないが、見えない敵から健康・命を守るため、今はひたすら **“STAY HOME！”**

編集部

スマホやパソコンで「おうち時間を充実させる」で  
検索すると様々な無料コンテンツが出てきます。編集部の「一押し」は「都響スペシャル／春休みの贈り物」。  
無観客のオーケストラで癒しの名曲を特別演奏。指揮者の解説も「な～るほど」。

国鉄監修／交通公社発行⇒



クモとイトの不思議

クモというと嫌う人もいるが、調べたり観察すると面白い。◇巣の形が種類によってそれぞれ違う。垂直な円形、水平な円形、ドーム型、ハンモック型、シート型、袋状の形と色々。



オダンソクハエトリグモ♂



カトウツグモ



コガタコガネグモ♀



ササグモの仲間

◇クモのイトはお尻の糸疣(イトイボ)から出て、一種類でなく役割に応じた様々な種類の糸を出す。

◇クモの巣(網)を作らず、ハエトリグモ等の歩き回っているクモも移動する時には、必ずイト(しおり糸)を出す。

◇肉食動物であり、(ゴケグモ類等の一部を除き人間の命を脅かす事はほぼ無い)毒で生きた獲物を麻痺させ、外から消化液で溶かし、その液をすすする食事。

自然界では害虫駆除の役割を持つ。

◇昆虫のように複眼でなく、一つ一つの独立した眼に分かれていて、基本的には8個だが、科により配列が違う。多くのクモは殆ど目が見えないが、ハエトリグモの様に優れた視力を持つモノもいる。興味が出てきましたか? サア! 探しましょう。屋内にもいますよ。(T.M)

野鳥このごろ

MKさんからの野鳥便り

コロナ自粛で「一人探鳥会」

野鳥達は、冬鳥たちは帰り支度で、留鳥はパートナー探しで忙しくなります。新緑前のこの期間は、樹間でもまだ簡単に鳥の姿を見付けることができ、探鳥にはベストシーズン。

一人探鳥会を続けている河内長野のK、Tさんからは、その報告が届きました。

「ようやく4月から部会が始まると楽しみにしていましたが、またまた中止ですね。3月で一人野鳥部会は終了のつもりでしたが、4月も続けます。」

3月に写真に撮れた鳥の名前⇒シロハラ、ホオジロ♂♀、ウグイス、セグロセキレイ、キセキレイ、メジロ、コゲラ、シジュウカラ、キジ、カワガラス、コサメビタキ、ヤマガラ、カワラヒワ、ジョウビタキ♂♀、イカル、カワセミ、アオジ、イソヒヨドリ♂♀、ツバメ他です。(写真はKTさん)



アオジ



ジョウビタキ 2020/4/11 11:09

また鳥仲間からの一人探鳥会報告では「泉ヶ丘の大蓮公園に4月上旬に出た池の鳥は、ヨシガモ、ヒドリガモ、オシドリ(4羽)、キンクロハジロ、オオバンなど」

STAY HOMEの最中ですが 皆さんも、近くの公園で一人探鳥会をしてみませんか。

## 里山だより

せっせと里山に通うMAさんからお待ちしております

里山のワラビ畑はこれからが最盛期です。この「ワラビ畑」について一言。私がカレッジで学んだのは、ワラビは「野に生える野草の一種」と聞いていました。しかし、手伝っている畑は、元々水田だった所を稲作からの転作でワラビを植えたそう。そして、毎年草刈りなどのメンテナンスをして、ワラビを育てています。苦労もありますが、収穫の喜びもあります。カレッジで教えていただいたように「里山は自然と人が作る芸術」です。田舎道を散策する時、農道の周りに広がる畑、里山を眺めると面白いですよ。



2月、刈り取った草を燃やします。人里から離れたところで、遠慮なく野焼きが出来るのは、幸せな感じがします。



きれいになったワラビ畑です。春になると右に見える竹林（他人の土地）の近くにはタケノコが、畑にはワラビが笑笑と出てきます。



4月、ワラビが出てきました。なんとなく楽しそうですね。



ワラビ、タケノコは、あく抜きをして冷水で保管します。この時期、我が家の常備食です。

## 私のイチオシ講座

カレッジ講座の中でイチオシの講座

今回はSNさんより



夏



### 芦生の森(元京大研究林)一泊研修

悠久の時を刻む秘境 芦生原生林をネイチャーガイドの案内で森をトレッキング。植物や昆虫などの生態が豊富で大自然を満喫できます。個人では入ることのできない天然林です。大阪シア自然カレッジに入会して良かった！と思える講座となるでしょう。 S.N



秋

写真は美山町HPより

編集部

例年、2年目講座の春実施でしたが、今年はコロナ禍で秋に延期予定。

## 編集部より

竹中光子 中務佐代子 上溝敏子 飯田憲三 kziid@gmail.com 090-6665-3750

「巣ごもり便り」「質問」「こんなの見つけました」など投稿お待ちしております。

「野鳥このごろ」「私のイチオシ講座」コーナー、今回より記載始めました。

「負けへんで コロナに！」コーナー新設です。自粛生活のエッセー。

一部投稿頂いた記事で掲載が遅れ、すみません。

STAY HOME! →



お上からの禁足令とあって、懇意の居酒屋に行くわけにいかない。家にいると酒量が増え、家人がなにかと口うるさい。運動不足解消のため、過日、「一人ハイキング」を敢行した。コースは自宅近くの市民体育館から南海高野線沿いをずっと南下、6駅先の橋本市の林間田園都市駅まで。約17キロをブラブラしながら、路上観察しようという狙いだ。

午前9時半、しっかりマスクをしてスタート。昔はマスクでうろつく「不審者」だが、今は市民権を得た正装である。快晴。桜は散りつつあるものの、木によってはまだ十分見られる。三日市町駅を過ぎると、旧線路跡に入る。この道は車の通行が禁止となっており、この20年間、マラソンの練習で何十回と走った道である。千早口駅手前で向こうから夫婦らしき二人が駆けてきた。よく見ると、知人の市議と奥さん。彼は伝統のある河内長野ランニングクラブの元会長。奥さんは大阪国際マラソンに何回も出た有名な市民ランナーだ。「夫婦で走るとはラブラブですね」と言う。「女房についていくのが大変なんです」と市議。どうやら「婦唱夫随」のようだ。

天見駅前の温泉旅館「南天苑」は、コロナ騒動の前は、中国人を中心に外国人であふれかえていた。それが今は、人ひとりいない。まさに栄枯盛衰。旧線路跡の道はその先の蟹井神社前でストップ、そこからは国道371号線に出て、紀見トンネル前に。トンネルは怖いので、ぐるぐると山を登る旧国道の山道に行く。山桜の白い花びらが風に乗って、こちらにさっと降りかかってくる。眼下に河内平野がかすむ。本来ならここで「行く春やー」と1句詠むはずだが、余裕がない。道路わきの岩の斜面に、蜜蜂の木箱が置いてある。日本蜜蜂を集めて、蜜を採るようだ。

紀見峠は標高約400m。大阪側はうっそうとした林、和歌山側はわずかながら民家があり、昔の高野街道の宿場町の雰囲気を残している。この小さな集落から、世界的な偉人が出たというから驚きだ。その名は数学者で文化勲章受章者の岡潔博士。博士の顕彰碑がここに3つもあるので解った。今までここが生誕の地とは寡聞にして知らなかった。橋本出身の偉人は、少女時代に紀ノ川で泳いだ前畑秀子さんだけと思っていた。

岡博士は京大を出て、フランスのソルボンヌ大学に留学。京大や奈良女子大で教鞭を執った。碑には業績が刻まれ、最大の業績という「多変数〇〇」という理論名が書かれているが、数学にからっきし弱い当方にはさっぱり。ただ「人を先にして、自分を後にせよ」との博士の名言も彫り込まれており、「なるほど」と納得。コロナ禍の今こそ、この言葉が生きるのではないか。ユニークなのは、碑の1つが全文外国語(たぶんフランス語)で刻まれ、博士の眼鏡を掛けた横顔のイラストが添えられていることだ。とても変わった碑である。ともかく、こんな辺鄙な(失礼)ところで、よくこれほどの偉人が生まれたものだと、つくづく感心した。近くには、「腰痛に効く神社」があり、当方も腰が痛いので、手を合わせた。

峠を一気に下り、3時間半で林間田園都市駅へ。駅前広場に人は見掛けず閑散。タクシーだけが並んでおり、ゴーストタウンだ。突然、スピーカーから女性の大きな声が頭上から降って来た。「市民の皆さん、緊急事態宣言の出ている大阪や兵庫には行かないでください!」。市役所からの呼び掛けだ。といっても、この人工の街の住人は、ほぼ全員が大阪と直結している「和歌山府民」。出て行かざるを得ないのだ。困ったものである。

昼食の後、帰りは電車。1車両2、3人しか乗っておらず、貸し切り状態。帰宅後「いい運動になった」と悦に入っていると、外野席からの声。「それこそ、不要不急の外出!」。いやはや非国民扱い。マイッタ! (渡口行雄)

紀見峠にある岡博士顕彰碑。右側は経歴や名言、左のものは外国語と博士の似顔絵



朝永、広中博士などノーベル賞受賞者に多大な影響  
京大の理系はホント凄いですね。